

横田基地研修所感

(株)IHIエアロスペース

木村 光利

平成19年9月4日、米軍横田基地研修に参加させていただきました。当日は、終始手際よくたくさんの方の施設をご案内いただき、まさに盛りだくさんの内容でした。本当に貴重な経験をさせていただきました。横田基地の皆様、日米エアフォース協会の皆様にはたいへん感謝しております。

横田基地を含め、在日米軍基地に入ったのはもちろん初めての経験でした。バスから眺める窓外の景色はまさに「外国」であり、住居に学校、ラジオ局からゴルフ場に至るまでをフルパッケージで基地として駐屯させるというスケールの大きさにとても驚きました。噂には聞いていましたが、ここまで「アメリカ」を再現しているとは想像しておりませんでした。特に印象に残ったのは航空機動中隊のターミナルです。搭乗ゲートや受付カウンターなど、ミニサイズではありますが日本の空港と遜色ない設備が揃っており、基地の中にこんなものまで備えているのかと感心しました。広報の方のお話で、「基地から一步も外に出ないで帰国される方もいる。」とお聞きしたのですが、なるほど、それも可能なほど設備は整っていると妙に納得したものです。

今回の研修では多くの米軍の方と交流する機会をいただきました。皆様が終始にこやかに、時折ユーモアも交えながら質問に答えてくださったことがとても印象に残っています。昼食会ではAFNの横田基地局長と同席させていただき、多くの興味深いお話を聞くことができました。AFNの製作スタッフやDJは基本的に米軍人が担当しており、入隊してから訓練を受けて始められる方がほとんどだということです。昼食後、実際にAFNのスタジオに案内していただきラジオ放送も見学しましたが、DJの方はプロも顔負けの格好良さで、正直驚きました。米軍での任務を終えてから、民間の放送局へ転職される方もかなりいらっしゃるようで、そのレベルは相当高いと思います。この放送ですが、基地の外でも受信できるということでしたので、今度じっくり聴いてみるつもりです(AMラジオの周波数810kHzで聴くことができます)。

今回の研修では、横田基地での米軍の活動内容、横田基地の安全保障上の意義についても、熱心で丁寧な解説をしていただきました。また、輸送機のC-130や積荷・運搬用の特殊車両カーゴローダーなど、各種の活動に必要な施設・装備品についても実際に見学させていただき、見るだけでなく、可能なものは触れさせていただきました。C-130はコックピットの中まで見学することができました。説明を聞くだけでなく、実際に見て、触れてみて、また現場の雰囲気を感じることで、日米同盟や在日米軍基地、日本の国際貢献のあり方についても、改めて考えるきっかけになりました。米軍の方々からのご説明も、誇りを持って日々の活動に当たっておられる様子が素直に伝わってき、この研修に参加することができて本当に良かったと思っています。

研修最後のバスツアーの際、基地内のグラウンドで夕日を背にアメリカンフットボールの練習をする高校生達の姿を見ました。終始なごやかに進められた今回の研修の最後にふさわしい、とても爽やかな光景で、昼食時にいただいたワインの酔いも手伝って、たいへん良い心持で帰宅の途につきました。